

第3次生駒市環境基本計画策定 第2回市民ワークショップ 実施概要

- 開催日時：平成30年2月12日(月・祝) 9:00～12:00
- 開催場所：生駒市役所 4階 大会議室
- 参加者数：36名(内、事務局関係者9名)
- 参加者構成
 - ・年代(20代2名、30代6名、40代9名、50代3名、60代6名、70代8名)
 - ・性別(男性22名、女性12名)
 - ・所属(公募8名、団体12名、事業者2名、学生1名、教育関係者2名、行政9名)
- 内容
 - 1. オリエンテーション(生駒市総合計画について、生駒市のシティプロモーション)
 - 2. ワークショップ(前回のふりかえり、まちの将来像について)

1. オリエンテーション

●生駒市総合計画について

- ・政策企画推進課より、生駒市の概要(市政施行、人口、人口の推移、産業)、総合計画に基づくまちづくり(総合計画とは、第5次総合計画の構成、第5次総合計画の期間、基本構想、基本理念、都市将来像、まちづくりの目標、基本計画)、第6次総合計画の予定について説明を行いました。

●生駒市のシティプロモーション

- ・いこまの魅力創造課より、ファンづくりで地域をつくると題して、生駒の魅力、住宅都市としてまちの活力を維持するためのシティプロモーション、まちの活力の維持、まちを愛しまちのために活動する人を増やすための戦略的なアプローチ(いこまち宣伝部、IKOMA SUN FESTA、ライフスタイルブックの発行、動画の制作)など共感と楽しさで、住み続ける価値のあるまちを参加型でつくる取り組みについて紹介しました。

2. ワークショップ

- ・事務局より、前回のふりかえりと今回のワークショップの進め方について説明を行いました。
- ・5班に分かれて自己紹介の後、「まちの将来像について～魅力のあるまちはどんなまち」をテーマに「私が考える、未来の生駒のまちの姿」について意見や提案を出し合い、その後、班で「まちの将来像」、「これからの生駒で大切にしたいこと」、「そのためにしなければいけないこと」について話し合いました。

●結果概要

まちの将来像として、以下のキーワードが出されました。

- ・環境・観光・健康・教育・技術（5K）を目指す ・ゆるくつながる ・オール生駒、多世代交流
- ・多世代・安心安全・楽しく・健康・環境 ・環境配慮と都市活動のバランスのとれたまち
- ・自然と調和したまち ・みんなが誇りを持ってイキイキと活動するまち
- ・多世代が楽しく、健康で住み良いまち ・健康寿命日本一のまち、生駒
- ・地域特性を活かしたまち

これからの生駒で大切にしたいこととしては、次のようなキーワードが挙がりました。

- ・それぞれ別で活動→ゆるくフェアにつながる ・再エネ率 100%のまち
- ・高齢者・若者・子ども・つながり
- ・より多くの人がまちと関わり、まちのために動くことが普通なまち
- ・市民、地域の取り組みで全国をリードするまち ・超高齢社会に対応した前進的施策の推進
- ・楽しさ、やりがい、お得感

上記を実現するためにしなければいけないこととしては、次のような提案がありました。

- ・ワクワクできるものを発信する！参加する勇気を持つ ・チャレンジ!! 場づくり
- ・クラブの設立 ・PTA 活動→地域活動に持続する ・家庭から広がる環境都市（エコ活動）
- ・地域でサークルづくり ・世代を超えて参加できる場
- ・活動に参加するための移動手段確保 など

